

愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

氏名	若林 良和	専攻	食料生産学
		コース	水圏生産学
職名	教授	専門分野	水産社会科学(水産社会学)
メールアドレス	wakabayashi.yoshikazu.mu@ehime-u.ac.jp	その他連絡先	089-946-9921(研究室直通)
研究課題	水産業・漁村に関する社会科学分野のトランスディシプリナリー研究②:展開研究		
キーワード	トランスディシプリナリーアプローチ(超学際的接近)、水産振興、漁村活性化、フードシステム		

研究内容:上記の研究課題にしたがった、具体的な研究内容は次のとおりである。

1. 「カツオ学」をもとにした水産振興と漁村活性化

カツオに関する学際的な把握を展開する「カツオ学」をもとに、地域の交流と連携を念頭に置き、地域文化と生活文化の究明、地域理解教育の深化、6次産業化と地域ブランド化の立案など、水産振興と漁村活性化に連動する実践的な研究を展開する。

2. フードシステムの観点からみた地域水産振興システム

地域水産振興に向けたシステム構築に向けた総合的な研究を推進する。水産物の生産～加工～流通～販売～消費に関する諸課題をフードシステムの観点からトータルに把握し、産学官民と地域(産地)の交流と連携による課題解決に向けた方策を検討する。水産地域ベースに、産地サイドの6次産業化、流通サイドのコミュニケーション深化、消費サイドの啓発・教育などの検討を展開する。

当該研究に関する実績:

- * 著書・論文:『カツオ一本釣り』中公新書、1991(単著) 『カツオの産業と文化』成山堂書店、2004(単著)
『カツオと日本社会』筑波書房、2009(単著) 『日本の漁村・水産業の多面的機能』北斗書房、2009(共著)
『カツオ学入門』筑波書房、2011(共著) 「養殖マダいの価値再生」『地域漁業研究』51(3)、2012
『社会共創学概論』晃洋書房、2016(共著)など。
- * 外部資金獲得実績(代表者分のみ):文部科学省科学研究費補助金、トヨタ財団地域社会プログラム、国土交通省「広域的地域間共助推進事業」など。
- * 学会賞等:地域漁業学会・学会奨励賞、漁業経済学会・学会賞、第46回高知県出版文化賞(共同)、第12回高知出版学術賞(共同)など。
- * 産学官連携などに関する学外の役職(学会を含む):農林水産省政策評価会水産庁専門部会・委員、副座長 水産庁民間団体補助金交付候補者選定審査委員会・委員 経済産業省四国経済産業局地域新成長産業創出促進事業審査委員会・副委員長 水産庁産地水産業強化支援事業総合検討委員会・委員など。
学会の役職:日本カツオ学会・会長、地域漁業学会・会長、漁業経済学会・理事、日本食育学会・代議員など。

提供可能な資源・技術・その他

- * 上記の研究課題・キーワード・研究内容に関することであれば、柔軟に、かつ、弾力的に対応する。
たとえば、「カツオ学」による地域連携手法のノウハウなど。

プロジェクト研究希望テーマ

- * 上記の研究課題・キーワード・研究内容に関することであれば、柔軟に、かつ、弾力的に対応する。
たとえば、①水産振興と漁村地域活性化に関する研究、②「カツオ学」をベースにした地域間連携・共助システムに関する研究など。